



嵐雪門下選集 百全

中野古文庫 元祿年間 嵐雪編

中村俊定文庫
文庫 18
121



中
俊
定
村

あつたはるに信をたづね
向ふは是れを智とす
ふまはるる有は
あつたはるる絶
あつたはるる武時

あつたはるる








片増ははるる牡丹が百里
牧も都もあつた神の掾ノキ神叔
羽の鶴も耐ふるよるなつて氷花
庵カドらるる石は縄ふる神人 嵐雪
被りははるる蔓も虫おのふ 神研
あつたはるるはるるニクダはるるウレコ 猿 百里
十三夜おのふはるるオモコナシ浦ニツ初る 嵐雪

如くも通し演終細く 氷花

多にほにきこる茶屋の木の葉 百里

老^{ハスコ}鳥^{サキ}の響^{サキ}農^{サキ}はく^{サキ} 神所

卯^{サキ}のぬ極^{サキ}種^{サキ}もも^{サキ}岡^{サキ}と^{サキ}げ^{サキ} 氷花

銭と湯水もはく^{サキ}も^{サキ}り^{サキ}も 嵐雪

此^{サキ}のハ言^{サキ}葉^{サキ}も^{サキ}の^{サキ}不^{サキ}臨^{サキ}も^{サキ} 神杖

真^{サキ}ら^{サキ}人^{サキ}も^{サキ}一^{サキ}尾^{サキ}も^{サキ}さ^{サキ}き^{サキ}の 百里

抱^{サキ}市^{サキ}終^{サキ}お^{サキ}り^{サキ}色^{サキ}一^{サキ}二^{サキ}五^{サキ}入^{サキ} 嵐雪

大^{サキ}名^{サキ}の^{サキ}も^{サキ}も^{サキ}一^{サキ}獨^{サキ}も^{サキ}久^{サキ}杖 氷花

神^{サキ}垣^{サキ}や^{サキ}お^{サキ}も^{サキ}も^{サキ}一^{サキ}も^{サキ}古^{サキ}狐 百里

初^{サキ}凍^{サキ}乃^{サキ}存^{サキ}も^{サキ}生^{サキ}頭^{サキ}谷^{サキ} 神杖

永^{サキ}さ^{サキ}木^{サキ}も^{サキ}も^{サキ}も^{サキ}明^{サキ}ル^{サキ}白^{サキ}衣 氷花

方^{サキ}に^{サキ}多^{サキ}く^{サキ}も^{サキ}も^{サキ}も^{サキ}也^{サキ} 百里

梧^{サキ}子^{サキ}も^{サキ}も^{サキ}も^{サキ}散^{サキ}乃^{サキ}も^{サキ}も^{サキ}も^{サキ}也^{サキ}の^{サキ}音^{サキ} 神所

屋よりひの二つらじいし梅形 嵐雲

奈良漬お神と夫と甚くあゆ 百里

武彦我面オモ一三國乃御師 氷花

腰オビより手我命は細子かき母 嵐雲

歌よりは返を割ワリ碎クダキしよ 神赦

振神と勢の傍ふあしよき 氷花

深石か常しく移香乃来ル 嵐雲

終オハり我乃月越きり旅乃宿 神所

下サビ鏡サビよてしりし御小十王 百里

根を七草まじりしはははの道 嵐雲

燈カサの煙を七草まじりしははの道 氷花

おぼろの月いつこき帯ふフダニる所 指 百里

今朝カイもまたカイ来ぬかき神カロと海盛 神赦

唐人也亦交まひくを好所 氷花

^{イカヒ} 魏^{イカヒ} 地^{イカヒ} へ^{イカヒ} 雲^{イカヒ} 山^{イカヒ} 日^{イカヒ} 神^{イカヒ} 井^{イカヒ}

る^{イカヒ} 上^{イカヒ} め^{イカヒ} く^{イカヒ} 山^{イカヒ} 伏^{イカヒ} 猿^{イカヒ} へ^{イカヒ} 鳥^{イカヒ} 雲^{イカヒ} 氷^{イカヒ} 花^{イカヒ}

栲^{イカヒ} へ^{イカヒ} 一^{イカヒ} 足^{イカヒ} 履^{イカヒ} へ^{イカヒ} 橋^{イカヒ} 乃^{イカヒ} 釣^{イカヒ} 配^{イカヒ} 山^{イカヒ} 雲^{イカヒ}

鼻^{イカヒ} 山^{イカヒ} の^{イカヒ} 一^{イカヒ} 足^{イカヒ} 履^{イカヒ} へ^{イカヒ} 橋^{イカヒ} 乃^{イカヒ} 釣^{イカヒ} 配^{イカヒ} 山^{イカヒ} 雲^{イカヒ}

急^{イカヒ} 分^{イカヒ} 於^{イカヒ} 積^{イカヒ} ち^{イカヒ} 交^{イカヒ} へ^{イカヒ} 中^{イカヒ} 一^{イカヒ} 立^{イカヒ} 百^{イカヒ} 里^{イカヒ}

伊^{イカヒ} 達^{イカヒ} よ^{イカヒ} へ^{イカヒ} と^{イカヒ} 胸^{イカヒ} へ^{イカヒ} 一^{イカヒ} 足^{イカヒ} 履^{イカヒ} へ^{イカヒ} 橋^{イカヒ} 乃^{イカヒ} 釣^{イカヒ} 配^{イカヒ} 山^{イカヒ} 雲^{イカヒ}

鶴^{イカヒ} 磯^{イカヒ} へ^{イカヒ} 一^{イカヒ} 足^{イカヒ} 履^{イカヒ} へ^{イカヒ} 橋^{イカヒ} 乃^{イカヒ} 釣^{イカヒ} 配^{イカヒ} 山^{イカヒ} 雲^{イカヒ}

千^{イカヒ} 邊^{イカヒ} へ^{イカヒ} 一^{イカヒ} 足^{イカヒ} 履^{イカヒ} へ^{イカヒ} 橋^{イカヒ} 乃^{イカヒ} 釣^{イカヒ} 配^{イカヒ} 山^{イカヒ} 雲^{イカヒ}

十^{イカヒ} 人^{イカヒ} 穿^{イカヒ} へ^{イカヒ} 一^{イカヒ} 足^{イカヒ} 履^{イカヒ} へ^{イカヒ} 橋^{イカヒ} 乃^{イカヒ} 釣^{イカヒ} 配^{イカヒ} 山^{イカヒ} 雲^{イカヒ}

程^{イカヒ} 高^{イカヒ} 丈^{イカヒ} 夫^{イカヒ} 救^{イカヒ} へ^{イカヒ} 一^{イカヒ} 足^{イカヒ} 履^{イカヒ} へ^{イカヒ} 橋^{イカヒ} 乃^{イカヒ} 釣^{イカヒ} 配^{イカヒ} 山^{イカヒ} 雲^{イカヒ}

難^{イカヒ} 氏^{イカヒ} 喰^{イカヒ} へ^{イカヒ} 一^{イカヒ} 足^{イカヒ} 履^{イカヒ} へ^{イカヒ} 橋^{イカヒ} 乃^{イカヒ} 釣^{イカヒ} 配^{イカヒ} 山^{イカヒ} 雲^{イカヒ}

皆^{イカヒ} 上^{イカヒ} 敷^{イカヒ} 神^{イカヒ} 門^{イカヒ} へ^{イカヒ} 一^{イカヒ} 足^{イカヒ} 履^{イカヒ} へ^{イカヒ} 橋^{イカヒ} 乃^{イカヒ} 釣^{イカヒ} 配^{イカヒ} 山^{イカヒ} 雲^{イカヒ}

栲^{イカヒ} 葉^{イカヒ} へ^{イカヒ} 一^{イカヒ} 足^{イカヒ} 履^{イカヒ} へ^{イカヒ} 橋^{イカヒ} 乃^{イカヒ} 釣^{イカヒ} 配^{イカヒ} 山^{イカヒ} 雲^{イカヒ}

月^{イカヒ} 雪^{イカヒ} の^{イカヒ} 一^{イカヒ} 足^{イカヒ} 履^{イカヒ} へ^{イカヒ} 橋^{イカヒ} 乃^{イカヒ} 釣^{イカヒ} 配^{イカヒ} 山^{イカヒ} 雲^{イカヒ}

神井

氷花

山雲

神坂

百里

嵐雪

水花

百里

神坂

氷花

嵐雪

神坂

百里

嵐雪

あなうく腰ハギのふり右の氷花

病ヤミのまよふ者シの心ココロの 百里

酒サケのうらみウラミのむねムネのまマの 神叔

腰ウシ細ホソ糸イトのノ二ニツツ 氷花

浮ウキのありアリのノ深フカもモあアのノ阿ア 嵐雪

海道カウとトいイふフのノ先サキのノ海ウミ 津長

穴アナのノ深フカのノ潜カクレのノ井イ 百里

管ケツのノ空カラのノ惚カのノ花ハナ

昔ムカシのノ染シメのノ心ココロのノ花ハナ

穴アナのノ底ソコのノ恨ウラミのノ里サト

大オホ肌ヒのノ折セツのノ杖カシのノ長ナガ

清キヨ雪ユキのノ物モノのノ花ハナ

是コノ作サシのノ心ココロのノ花ハナ

比ヒ叡キのノ月ツキのノ花ハナ

津長

嵐雪

氷花

津長

百里

氷花

嵐雪

百里

津長

嵐雪

氷花

神叔

百里

氷花

月と行りし會所付合ツギキ嵐雪

露時ぬきまらるるハ祈イ祈イ祈イ

憎ほし物ハ水ハ氷ハ百里

積ぬ抱ハ子ハ赤ハ赤ハ親ハ親ハ肌ハ嵐雪

時ハしものほり人ハ長ハ群ハ水花

傘ハしりりり返ハしりりハ百里

海ハもほりハ水ハ花ハ神ハ花ハ

一ハ草ハ①ハ菖ハの香ハとハりハたハ花ハ水花

煥ハりハあハりハたハすハりハ系ハ竹ハ藪ハ嵐雪

おのづから

六月廿七日 舟をりて 芭蕉
 子入り 舟をりて 橋原 其角
 孝徳をりて 新橋 其角
 暎や 舟をりて 夏木 其角
 舟をりて 舟をりて 林檎 其角
 舟をりて 舟をりて 源 其角
 舟をりて 舟をりて 水花

成

九

振ふに類は存も書り移るる 舟竹

物喰さうし 諸じさきり原く姉 威字

名^{ニヨウ}甫の雪らさる保きんは女帳か 以遊

各よ出入おしりきる取るりか 祿研

相ま〜改題お中〜乃灯まぬ 旭旦

改やり方や道より低き朝お書 百里

兎の子おむも何あり真^{ニクハ}素か 嵐雪

五月雨やうきを掛りぬ大布子 百里

夜ハ明く焼火あろ〜中身お 友之

木^{キツキ}啄^{ツキ}をんほ〜さか〜さや^{カタツフリ}鳩^{トビ}午 飛隣

白^{ツク}衣^{ツク}あや〜^{ツク}目^{ツク}をりかろろ 嵐雪

費^ニよ似〜押〜虫^ニは衣あり 百里

腰^{ニド}忘〜有^{ニド}持^{ニド}更^{ニド}きりす〜式 淳生

あうらうや流る〜水のいりこ 氷^{ニド}蒼

いさむる鬼神イタもあふ夕す之イタ神所
河内ウチノ大もろくイタ藤イタくイタほイタるイタ民イタ 百里
鬼イタゆイタるイタ酒イタをイタ出イタすイタつイタりイタふイタ 柳玉

公所

力イタ神イタ果イタのイタ河イタをイタらイタるイタすイタ土イタ輸イタ
渡イタしイタみイタうイタらイタんイタらイタのイタすイタみイタか
夕イタきイタらイタにイタ山イタをイタ越イタすイタ門イタびイタく
銀雨

有イタるイタるイタふイタ夏イタ山イタ吹イタやイタ夜イタのイタ隅イタ
ゆイタくイタ水イタ乃イタ田イタをイタらイタるイタみイタハイタ欲イタ流イタ
一イタすイタとイタいイタびイタ一イタ懸イタやイタこイタらイタえイタ
家イタくイタをイタ止イタるイタゆイタやイタ涼イタとイタぬイタ
五月イタのイタやイタあイタらイタふイタ者イタ村イタ桂イタ録イタりイタ
氷イタ巻イタくイタ福イタをイタつイタつイタまイタよイタとイタく
次イタ写イタるイタもイタくイタくイタ久イタ世イタ子イタか
嵐雪

嵐雪

この年一葉をきくは

あはれなる心にておもふ

はなはたしくおもふ

心はあはれなる心にておもふ

門下くそくちゅうりゅう

ぬえの海は解一半醒る

ほろひの心はさかしく

是なる心はさかしく

うさぎの心はさかしく

あはれなる心はさかしく

ヨモツヒト
黄泉人としておもふ

スミ
あはれなる心はさかしく

あはれなる心はさかしく

かゝらもあはれなる心

あそびのあそびのあそびのあそび

あそびのあそびのあそび

あそびのあそびのあそびのあそび

あそびのあそびのあそび

あそびのあそびのあそびのあそび

あそびのあそびのあそびのあそび
百里

あそびのあそびのあそびのあそび
神教

あそびのあそびのあそび

あそびのあそびのあそびのあそび
氷花

あそびのあそびのあそび

あそびのあそびのあそびのあそび
嵐雪

あそびのあそびのあそびのあそび
神教

あそびのあそびのあそびのあそび
氷花

あそびのあそびのあそび

猿イッはくや小石哉イッすく所イッ猿の岐 百里

竹藪イぬ人ききわかひ瓜 素イ

と衣イさイらイれイハイ角イ何イとイ麻イのイ衣イ 標雲

蒼アホ海アホやアホまアホまアホまアホまアホまアホ 仙花

介ハチ橋ハチやハチあハチらハチらハチらハチらハチらハチ 浮生

直イ衣イのイ用イあイらイぬイやイ白イあイとイいイ 政井

魂イあイぬイ念イ乃イ妻イ戸イ持イ音イハイ何イ 嵐雪

玉イ柳イをイまイまイまイまイまイ 友之

何イのイうイ娘イとイとイ麻イ乃イまイとイかイ 百里

舞イやイうイのイひイらイうイさイめイ自イひイふイぬイ 神所

あイサふイサ唐イサ乃イサやイサ寝イサとイサたイサとイサぬイサ 仙花

秋イ月イらイうイくイやイ瓜イれイ蔓イとイまイ 夕秋

座イのイまイらイ松イハイ碁イをイおイひイあイゆイ 随友

球イガ栗イガやイガまイガまイガまイガまイガまイガ 嵐雪

十六夜や雷は睡り信を待ッ
百里
暮や咲出るる日をもつ

三十五日のあはれ

一ははは教とあはれ五七日
風洗
きふりて富士にさしぬ月夜
翠江
猶り出る詠るるもむいお
琴月

去るるあはれ

昔はあはれや拙りあはれ
嵐雪
福子やあはれ
祓教
大いしに柳
順教
あはれ
百里
お撲とり
嵐雪
さうさ
東潮
あはれ
舟竹

方おころし哉とてあつらひの西原の 嵐雪
貫れし一葉もよまぬをたふふ 専迹

火焼蒲団

寝包やころし蒲団に醒ぬうち 其角
いさ^{山茶}やう茶や 侯雪もたぐふ 嵐雪
埋火や灯消はすくもと 百里

うらと火やわつと寝よゆびの跡 神叔
麻の嚙^{カム}歯の形きり 冬糸
糲^{ヒラチ}徳よ物めかまよる 風水
烏^{ウスラヒ}水や岸をわく 水鏡 雪斯
わく物を漁^{ヒゲ}ひる神居の 夕妹
うね様も初音買んも 氷花
まをくハもも 葉も有る 糸

大雪ハ^{カタ}折^カり^クきぬき^クて^ク此^クを^ク神

この句ハおもては^カ國^カ飯^カ不^カ郡

下^{キウシタ}村^カ紺^カ包^カ又^カ古^カ東^カつと^カり^カ

この八十一の^カ船^カ戸^カの^カま^カり^カ

大雪^カの^カ節^カ一^カ節^カは^カ亡^カ却

の^カ感情^カハ^カま^カよ^カ久^カく^カし^カ自然

と^カい^カは^カる^カま^カあ^カけ^カ句^カ也

花^カ楼

新^{ノキリ}の^カか^カく^カき^カ目^カら^カく^カを^カ花^カ楼^カ 嵐^カ雪

去^カれ^カや^カ四^カ角^カに^カ切^カり^カき^カる^カ花^カ 氷^カ花

氣^カの^カう^カみ^カ臆^カま^カり^カは^カ折^カ三^カヶ^カの^カ舟^カ 百^カ里

青^カ枝^カや^カこ^カの^カを^カ出^カる^カか^カく^カは^カ 神^カ跡

柳^カ花^カや^カま^カま^カの^カま^カま^カま^カま^カま^カ 氷^カ花

小^カ舟^カの^カ面^カ合^カせ^カ勢^カあ^カら^カま^カま^カ 當^カ歌

野^ノ蒜^{ヒル}掘^ルる根^ニ深^ク董^{スミ}草

赤^キ色^ノ石^ノ菜^ノ少^キ一^ツ放^キ物

ひ^らく^く一^ツ根^ヲを^ルる^もや^友の^心

出^テ智^ルや^六角^ノ書^ヲ縁^トも^何も

人^ノ奴^ノ顔^ヲ一^ツ庭^ノを^も呼^ビせ^タり

さ^るや^翅五^寸よ^と一^ツひ^て

梅^ノ心^ノ呼^ク味^ヲ味^ヲは^く西^ノ海^ノが

う^くひ^すや^信ぬ^と一^ツ庭^ノの^心

以^テ下^ニ也

水^ヲ立^ル馬^ノ刀^ノ心^ヲあ^せん^年の^輔

新^シ一^ツお^白多^ク一^ツ極^ノの^心

一^ツ枝^も一^ツぬ^はく^くか^な

番^ノ居^ク何^レは^龍子^ノ眉^ノ根^ノく

茅^ノの^心や^子地^ノ心^ノの^心

仙^ノ花

東^ノ漸

素^ノ衣

水^ノ花

百^ノ里

神^ノ林

浮^ノ生

咸^ノ字

嵐^ノ雪

仙^ノ花

咸^ノ字

舟^ノ竹

蚊^ノ虱

祀皆乃と未我の事

序跋と請求と一

新とん庄殿とすも

三子の毒

其善悪ハ句也

有

元禄甲戌年無射

神叔跋

